

第13回技術フォーラム開催要領

北海道の本格的な開拓の歴史は145年と短いながらも、厳しい気象条件、自然条件の中、自然環境との共存、寒冷地農業の試行錯誤等、苦難を乗り越えながら、様々な先人者の努力や技術開発により、今日の緑豊かな豊穡の大地を創りあげてきました。

一方、北海道は他地域に比べ産業集積が少なく、かつ産業構造の転換が遅れており、人口は、H47年予測で現在よりも100万人少ない446万人と推計され、地域の文化・産業の衰退が懸念されています。

しかし、H27年度中には、待望の北海道新幹線が新函館北斗まで開通する時代を迎えるとともに、日本の他地域には見られない貴重な自然環境、多様な生態系（身近には気づかない魅力）を背景とする「北海道観光」が脚光を浴びており、このような北海道の優位性を活用した「北海道の未来」を考えていくことが技術士として必要不可欠と思われます。

今回は「北海道の未来」をテーマとした基調講演、一般課題さらにパネルディスカッションにおいて我々技術士（者）が「北海道の未来」を構築する上で、何をすべきか討論をおこないます。年度末の多忙な時期ではありますが、皆様の参加をお待ちしております。

1 開催日と場所

日時：平成27年2月25日（水） 13：30～17：00

場所：ホテル札幌ガーデンパレス（2F丹頂）札幌市中央区北1条西6丁目 TEL 011-261-5311

2 プログラム

第1部 基調講演「テーマ 北海道の未来 ～新たな芽吹き創造～」

講演1) 森川海の循環による豊かな恵み 13：40～14：10

講演者：東海大学 生物学部 教授 櫻井泉 氏

講演要旨：循環メカニズムによる人間への恵みと環境保全の取組

講演2) 自然との共生と新たな産業創出の発想 14：10～14：40

講演者：株式会社 NACニセコアドベンチャーセンター

代表取締役 ロス・フィンドレー 氏

講演要旨：ニセコ町を国内外からの通年観光地に変貌させた経験と地域活性化

第2部 一般課題

講演1) 豊かな自然を背景とした農業・食産業の取り組み 14：40～15：05

講演者：日本技術士会 北海道本部 食産業研究委員会 幹事長 小林一弥 氏

講演要旨：北海道の農業・食産業における取り組み

講演2) イノベーションを起こす地域の人材と地域産業 15：05～15：30

講演者：苫小牧工業高等専門学校 北海道地区産学官連携コーディネーター

特命教授 土田義之 氏

講演要旨：地域活性化に寄与するプロジェクトや必要な技術、それを担う人材育成

第3部 パネルディスカッション 15：45～17：00

主旨：北海道の未来(観光・農林水産業・環境・インフラなど)について、特徴・風土を生かす視点で、何をすべきか議論

コーディネーター：五十嵐敏彦(日本技術士会 北海道本部 事業委員会)

パネラー：櫻井氏、ロス氏、土田氏、小林氏

3 参加申込

- ▶ 参加希望者は、氏名、部門、所属、参加料区分、意見交換会参加・不参加を明記し、平成27年2月20日（金）までに、下記宛FAXもしくはEメールでお申し込みください。

○参加料区分

- ①一般市民、②学生（CPD対象者を除く）、③CPD無料参加券持参技術士・技術士補 無料
④技術士会会員1,000円、⑤会友1,500円、⑥非会員2,000円、⑦その他（要CPD押印者）2,000円 ※無料券使用は事前申込の先着20名様のみ。

○情報交換会：フォーラム終了後に情報交換会を開催します。参加有無についてもご記載をお願いします。場所：ホテル札幌ガーデンパレス（4F真珠）、時間：17:15～（会費3,000円）

○申込先：日本技術士会北海道本部 事務局（桑島、長谷川）

E-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp、FAX：011-801-1618

第 13 回技術フォーラム FAX 申込用紙

FAX 先 : 日本技術士会北海道本部 事務局

(担当 : 桑島、長谷川)

FAX : 011-801-1618

所属 _____

ふりがな

お名前 _____

【参加料区分】: 以下、いずれかに○を付けてください。

- ①一般市民 : 無料
- ②学生 (CPD対象者を除く) : 無料
- ③CPD無料参加券持参の技術士・技術士補 : 無料
- ④技術士会会員 : 1,000円
- ⑤会友 : 1,500円
- ⑥非会員 : 2,000円
- ⑦その他 (要CPD押印者) : 2,000円

【フォーラム】 出席 ・ 欠席 (どちらかに○を付けてください)

【情報交換会】 出席 ・ 欠席 (どちらかに○を付けてください)